

華中調查速報第一七二號
昭和十六年五月

教育公報抄（邦語） 民國三十年三月十五日 第二十二期

興亞院華中連絡部

236

REEL No. A-0279

0279

アジア歴史資料センター

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團參謀長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、南通、蚌埠、安慶、無錫、特務機關長

在南京大使館

各 " " 各 各

九〇
二二
部部部部部部部部部部部部

支那派遣軍總司令部報道部長

漢口陸軍特務部長

中支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

支那方面艦隊參謀長

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部

漢口海軍特務部長

支那方面艦隊報道部長

上海方面海軍根據地隊司令官

上海

東亞研究所

東京

滿鐵上海事務所

外務省大臣官房文書課

中華民國法制研究會

一五〇
部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦語を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉載する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを記録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速報に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政治局の翻譯、編輯に係る



目次

一、修正民衆教育館暫行規程	一頁
二、教育部童子軍事務委員會規程	八頁

修正民衆教育館暫行規程

(中華民國二十四年二月八日教育部公布)

第一條 民衆教育館ハ省市縣ニ於テ之ヲ設立ス

地方自治機關又ハ私人モ民衆教育館ヲ設立スルコトヲ得

第二條 民衆教育館ヲ省市ニ於テ設立シタルトキハ省市政府ヨリ

左記各事項ヲ記載シ教育部ニ届出デ認可ヲ經テ記録セシムベ

シ

縣市ニ於テ設立シタルトキハ縣市政府ヨリ左記各事項ヲ記載

シ教育廳ニ届出デ認可ヲ經且教育部ニ移牒シテ記録セシムベ

シ

地方自治機關ニ於テ設立シタルトキハ地方自治機關ヨリ左記

各事項ヲ記載シ縣市政府ニ届出デ認可ヲ經且教育部ニ移牒シ

1

2

テ記録セシムベシ

私人ニ於テ設立シタルトキハ私人ヨリ左記各事項ヲ記載シ主

管教育行政機關ニ届出デ認可ヲ經テ記録セシムベシ

(一) 名稱

(二) 場所

(三) 經費(開館・經常ノ二種ニ分チ且其ノ出所ヲ明記

ス)

(四) 章則

(五) 計劃

已ニ設立シタル民衆教育館ニ付本規定ノ公布後ハ更ニ前項ノ

手續ヲ行フベシ

第三條 民衆教育館ノ變更及停止ニ付省市ニ於テ設立シタルトキハ

省市政府ヨリ教育部ニ届出デ認可ヲ經テ記録セシムベシ

縣市ニ於テ設立シタルトキハ縣市政府ヨリ教育廳ニ届出デ認
可ヲ經且教育部ニ移牒シテ記録セシムベシ
地方自治機關ニ於テ設立シタルトキハ地方自治機關ヨリ縣市
政府ニ届出デ認可ヲ經且教育部ニ移牒シテ記録セシムベシ
私人ニ於テ設立シタルトキハ私人ヨリ主管教育行政機關ニ届
出テ認ヲ經テ記録セシムベシ

第四條 民衆教育館ハ本年度ノ開始一月内ニ次年度ノ豫算書及進
行計劃書ヲ作成シ主管教育行政機關ニ届出デ審査ノ上記録セ
シムベシ

第五條 民衆教育館ハ毎年度終了後一月内ニ前年度ノ決算書及進
行概況書ヲ作成シ主管行政機關ニ届出デ審査ノ上記録セシム
ベシ

第六條 民衆教育館ハ左記ノ各組ヲ分設ス

- (一) 教導組 館内民衆學校ノ教學及館外民衆學校ノ指導
演說ニ映畫、幻燈ノ巡迴映寫等之ニ屬ス
- (二) 閱覽組 書籍、雜誌、新聞紙、圖表、標本、模型等、
館内ノ閱覽、館外ノ借閱及巡迴文庫並ニ各種
ノ展覽會等之ニ屬ス
- (三) 健康組 館内、館外、運動場所ノ器具設備、運動事項
ノ指導等ノ如キ體育ニ關スルモノ及疾病ノ治
療、防疫清潔ノ指導等ノ如キ衛生ニ關スルモ
ノ之ニ屬ス
- (四) 生計組 園藝、牧畜及其ノ他農工技術ノ傳授各種合作
社ノ組織等之ニ屬ス
- (五) 事務組 文書、會計及其ノ他各組ノ事項ニ關セザルモ
ノ之ニ屬ス

以上五組ヲ全設又ハ一部分ヲ設置若ハ合併設置スルトキハ地方之情況ニ因リ適宜之ヲ處理スルコトヲ得

省市（行政院直轄市）立ノ民衆教育館ハ前記ノ五組ヲ設置スルヲ除クノ外且適宜ニ他組ヲ増設スルコトヲ得其ノ名稱ハ各省市ニ於テ之ヲ定ム

第七條 民衆教育館ハ普及ノ準備ノ爲研究及實驗工作ニ從事スルコトヲ得

第八條 民衆教育館ハ館務ノ推進ヲ計ル爲地方ノ熱心ナル社會教育人士ト聯絡シテ各種委員會ヲ組織スベシ

第九條 民衆教育館ニ館長一人ヲ置キ館務ヲ總理ス
省立ナルトキハ教育廳ヨリ合格人員ヲ選抜シ省政府委員會議ノ通過ヲ經テ省政府又ハ教育廳ヨリ之ヲ任命ス
市（行政院直轄市）立ナルトキハ市ノ教育行政機關ヨリ合格

人員ヲ選抜シ市政府ニ申請シ認可ヲ經テ之ヲ任命ス

地方自治機關ノ設立ナルトキハ設立ノ機關ヨリ合格人員ヲ選抜シ縣市政府ニ申請シ認可ヲ經テ之ヲ任命ス

私立民衆教育館々長ハ設立者之ヲ兼任又ハ聘任ス但シ主管教育行政機關ニ届出デ認可ノ上記録セシムベシ

民衆教育館々長ハ一組ノ主任ヲ兼任スベシ但シ俸給ヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第十條 民衆教育館ニ每組主任一人、館員若干人ヲ置ク館長ヨリ合格人員ヲ選抜シテ之ヲ任用ス且主管教育行政機關ニ届出デ記録セシム

第十一條 民衆教育館經費ノ分配標準
俸給ハ經費ノ百分ノ五十ヲ超ユルコトヲ得ズ事業費ハ百分ノ四十以内タルコトヲ得ズ辦公費ハ百分ノ十トス

第十二條 民衆教育館辦事細則ハ館長之ヲ定ム主管教育行政機關ニ
届出テ認可ノ上記録セシム

第十三條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

教育部童子軍事務委員會規程

(行政院行字第二三二二號指令核准)

第一條 教育部ハ童子軍(少年義勇兵)ノ事業ヲ推進及中國童子軍
總會ノ恢復ヲ計劃準備スル目的ヲ以テ特ニ教育部童子軍事務
委員會ヲ設置ス(以下本委員會ト略稱ス)

第二條 本委員會ニ暫時委員七人ヲ置キ教育部ヨリ之ヲ招聘任命
ス

委員人選左ノ如シ

- (一) 社會部一人
- (二) 宣傳部一人
- (三) 軍事訓練部一人
- (四) 教育部二人

第三條

本委員會ノ職掌左ノ如シ

- (一) 童子軍總會ノ恢復計劃事項
- (二) 童子軍總章及一切ノ章則修改
- (三) 童子軍總會ノ經常豫算編製
- (四) 童子軍ノ訓練標準修正
- (五) 全國童子軍ノ現狀調査及登記事務ノ處理
- (六) 童子軍教練員ノ訓練事項ノ編制計劃
- (七) 童子軍ニ關スル各種訓練ノ計劃方案制定
- (八) 童子軍ニ關係スル各種刊行物ノ出版

第四條

本委員會ニ委員長一人ヲ置キ教育部長ヨリ之ヲ兼任ス

第五條

本委員會ニ總務、組織、訓練ノ三組ヲ分設シ各組ニ主任幹事一人ヲ置キ教育部ヨリ之ヲ任命ス

第六條

本委員會ニ指導員二人、幹事三人、書記若干人ヲ置キ教育部ヨリ之ヲ任命シ又ハ轉任セシム

第七條

本委員會委員ハ童子軍専門家ノ專任ナルヲ除クノ外其ノ他ノ各兼任委員ハ凡テ無給職トス但シ事實上ノ必要ニ應ジ適宜特別辦公費ヲ支給スルコトヲ得

第八條

本委員會ハ童子軍總會ノ成立後ニ之ヲ取消ス

第九條

本規程ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得

第十條

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第一七三號
昭和十六年五月

國民政府公報抄（邦譯）
民國三十年四月九日 第一五九號

與亞院華中連絡部

245

REEL No. A-0279

0242

アジア歴史資料センター

發送先

一本院

華北運絡部次長

蒙疆、厦門各運絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團參謀長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、南通、蚌埠、安慶、無錫、特務機關長

在南京大使館

各

各

各

各

九〇

二

二

一

一

一

一

一

一

一

一

三

部部部部部部部部部部部部部部部部部

支那派遣軍總司令部報道部長

漢口陸軍特務部長

支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

支那方面艦隊參謀長

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部

漢口海軍特務部長

支那方面艦隊報道部長

上海方面海軍根據地隊司令官

東亞研究所

滿鐵上海事務所

外務省大臣官房文書課

中華民國法制研究會

各

部部部部部部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

- 一、省市（直轄市）宣傳處組織規程……………一 頁
- 二、中央儲備銀行組織大綱……………五

省市（直轄市）宣傳處組織規程

（中華民國三十年四月四日國民政府
第九十七號指令「准予備案」）

- 第一條 省市（直轄市）宣傳處ハ省市市政府ニ直屬ス省政府主席及市長ノ命ヲ承ケ宣傳部ニ屬セザル省市ノ宣傳事項ヲ掌理ス
- 第二條 省市宣傳處ハ宣傳部ノ指導及監督ヲ受ク
- 第三條 省市宣傳處ハ中央法令及省市政府命令ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ主管事務ニ對シ處令ヲ發スルコトヲ得
- 第四條 各省市宣傳處ニ左記各科ヲ置ク
 - （一）總務科
 - （二）指導科
 - （三）事業科

1

第五條 總務科ハ左記事項ヲ掌理ス

- （一）文書ノ受發、分配、起案及保管ニ關スル事項
- （二）官印ノ保管ニ關スル事項
- （三）本處經費ノ出納ニ關スル事項
- （四）宣傳物ノ印刷、發行及保管ニ關スル事項
- （五）本處ノ人事、庶務及其他各科ニ屬セザル事項

2

第六條 指導科ハ左記事項ヲ掌理ス

- （一）地方宣傳計劃ノ制定ニ關スル事項
- （二）所屬宣傳機關工作ノ指導及考查ニ關スル事項
- （三）地方新聞原稿ノ起案及發布ニ關スル事項
- （四）地方宣傳刊行物ノ指導及審査ニ關スル事項
- （五）宣傳資料ノ蒐集ニ關スル事項

第七條 事業科ハ左記事項ヲ掌理ス

- (一) 宣傳事業、宣傳活動ノ規劃及進行ニ關スル事項
- (二) 新聞事業ノ聯絡及援助ニ關スル事項
- (三) 宣傳事業組織ノ調査ニ關スル事項
- (四) 新聞従業員及同業公會ノ調査ニ關スル事項
- (五) 宣傳刊行物ノ編輯ニ關スル事項
- (六) 映画、ラジオ及其他藝術宣傳ノ計劃及進行ニ關スル事項

第八條 省市宣傳處ハ地方ノ宣傳工作ヲ推進スル爲宣傳會議ヲ組織スベシ。省市政府所在地ノ宣傳ト關係アル機關及團體代表之ニ參加ス。

第九條 省市宣傳處ニ處長一人ヲ置キ全處ノ事務ヲ綜理シ及所屬職員ヲ指揮監督ス。

第十條 省市宣傳處長ハ省市政府會議ニ列席セルコトヲ得。

第十一條 省市宣傳處ニ秘書一人乃至二人ヲ置キ處長ノ命ヲ承ケ機

密文書及交付セル事項ヲ掌理ス。

第十二條 省市宣傳處ニ科長三人、科員九人乃至十五人ヲ置キ長官

ノ命ヲ承ケ事務ヲ分掌ス。

第十三條 省市宣傳處ハ事務上ノ必要ニ應ジ專員二人、視察二人ヲ

置クコトヲ得且適宜ニ雇員若干人ヲ置クコトヲ得。

第十四條 省市宣傳處長ハ簡任、秘書、專員、視察、科長ハ薦任

科員ハ委任トス。

第十五條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。



中央儲備銀行組織大綱

（中華民國三十年四月四日增訂第四條第五項
條文國民政府第九十八號指令「准予施行」）

第一章 總 則

第一條 本大綱ハ中央儲備銀行法ニ依リ之ヲ制定ス

第二章 總 行

第二條 中央儲備銀行ハ總行ヲ設ケ全行ノ業務ヲ統轄ス

第三條 總行ニ總裁一人ヲ置キ全行ノ業務ヲ綜理ス副總裁一人ハ之ヲ輔佐ス

第四條 總行ニ業務、發行、副庫ノ三局ヲ設ケ各局長一人ヲ置ク必要アルトキハ副局長一人又ハ二人ヲ増置スルコトヲ得
上記ノ業務局長、副局長ハ外部ニ對シテハ總經理（總支配人）
副經理（副總支配人）ト稱ス

業務局及發行局ハ事務ノ需用ニヨリ襄理（補助）若干人ヲ置クコトヲ得總裁ニ於テ之ヲ任命ス

發行局ニ發行專員若干人ヲ置ク總裁ニ於テ之ヲ任命ス
發行局ハ各分支行（各支店、出張所）ニ分支庫ヲ設クルコトヲ得其ノ章則ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 總行ニ總務、秘書、稽核（審査）、調査ノ四處ヲ設ケ各處長一人ヲ置ク必要アルトキハ副處長一人又ハ二人ヲ増置スルコトヲ得

秘書處ニ秘書若干人ヲ置キ稽核處（審査處）ニ稽查若干人ヲ置ク凡テ總裁ニ於テ之ヲ任命ス

調査處ニ専門委員若干人ヲ置キ總裁ニ於テ聘任ヲ特約シ又ハ之ヲ任命ス

調査處ニ專員若干人ヲ置キ總裁ニ於テ之ヲ任命ス

第六條 總行ノ各局處ハ分科シテ事務ヲ處理スルコトヲ得毎科ニ主任一人、辦事員、功員、練習生若干人ヲ置ケ且必要アルトキハ副主任一人ヲ増置スルコトヲ得

第七條 總行各局處ノ局長、副局長、處長、副處長ハ總裁ヨリ理事會ニ提出シ同意ヲ經テ之ヲ任用ス其ノ他ノ職員等ハ總裁之ヲ任命ス

第八條 總行各局處ノ組織及職掌ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 總行ノ内部事務ニ付第四條、第五條、第六條ノ規定セル範圍内ニ屬セザルトキハ總裁ニ於テ適宜人員ヲ置キテ之ヲ處理スルコトヲ得

第三章 分支行（支店出張所）

第十條 總行ハ各主要地方ニ分支行ヲ設ケ各該地方ノ業務ヲ處理ス

第十一條 分支行ニ經理一人ヲ置キ總行ノ命ヲ承ケ該分支行ノ業務ヲ處理ス

第十二條 分行ニ副經理一人又ハ二人ヲ置ク經理ヲ輔佐シテ行務ヲ處理ス且事務上ノ必要ニ因リ襄理（補助）若干人ヲ増置スルコトヲ得

第十三條 支行ニ副經理一人又ハ二人ヲ置キ經理ヲ輔佐シテ行務ヲ處理ス業務ノ比較的簡單ナル支行ニ在リテハ副經理ヲ増置セザルコトヲ得

分行ノ副經理ハ支行ノ經理ヲ補助ス

副經理等ハ總裁之ヲ任命ス

第十四條 分支行ハ分課シテ事務ヲ處理ス每課ニ主任一人、辦事員、助員、練習生若干人ヲ置ク且必要アルトキハ副主任一人ヲ增置スルコトヲ得凡テ總裁之ヲ任命ス
上記ノ各課ハ分系（系）シテ事務ヲ處理スルコトヲ得每系ニ系長一人ヲ置キ之ヲ主管ス

第十五條 分支行職員ノ移動轉任ハ總行之ヲ決定ス

又ハ各該分支行ノ經理之ヲ審査シ總行ニ申請シテ許可ヲ受ク

第十六條 總行ハ稽核（検査員）ヲ派遣シテ分支行ニ駐在セシメ副經理ヲ輔佐シテ特定業務又ハ其ノ他ノ事項ヲ處理スルコトヲ得

第十七條 分支行ノ組織及其ノ職掌ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 辦事處

第十八條 總行ハ各次要地方ニ辦事處ヲ設ケ各該地方ノ業務ヲ處理ス

第十九條 辦事處ハ總行ヨリ最寄ノ分行又ハ支行ヲ指定シテ之ヲ管轄スルコトヲ得

第二十條 辦事處ニ主任一人ヲ置キ總行及管轄行ノ命ヲ承ケ該辦事處ノ業務ヲ處理ス且事務上ノ必要ニ因リ副主任一人ヲ増置スルコトヲ得

主任及副主任ハ總行之ヲ任命ス

第二十一條 辦事處ハ分股（係）シテ事務ヲ處理ス每股ニ股長一人、辦事員、助員、練習生若干人ヲ置ク凡テ總行之ヲ任命ス

第二十二條 辦事處職員ノ移動轉任ハ總行之ヲ決定ス又ハ各該辦事處主任ヨリ總行ニ申請シ又ハ各該管轄行ヲ經由總行ニ移牒シテ許可ヲ受ク